

いわくら 市議会だより

2013.8
No.191

2013年(平成25年)8月1日
編集 議会広報特別委員会
発行 岩倉市議会
〒482-8686
岩倉市栄町一丁目66番地
TEL 0587-38-5820 議会直通
FAX 0587-66-0055 議会直通



セントラル愛知交響楽団第19回岩倉定期演奏会～市民合唱団とともに～
<総合体育文化センター> (平成25年6月16日)

主な内容

☆6月定例会のあらまし	2~5
☆一般質問(11名)	6~13
☆写真を募集します	14

平成25年6月(第2回)定例会

条例の改正・廃止、補正予算など市長提出議案12件を可決

歳入歳出それぞれ3494万9千円を追加するもの。全員賛成で原案可決。

予防接種助成金（175万円）

妊娠を予定または希望している女性およびその夫等を対象に風しん予防ワクチンの接種費用を助成するもの。

国からは、製造販売業者に対して、予定前倒しの出荷および増産の対応をお願いするという協力依頼の文書があつた。県からも、過去における風しん罹患歴および妊娠する可能性が高い女性が優先して接種できるよう依頼する通知があつた。市としては、国からの文書が

問

子宮頸がんワクチンについて



届いた際に医療機関に対して情報提供を行つた。

歳入歳出それぞれ3494万9千円を追加するもの。全員賛成で原案可決。

予防接種助成金（175万円）

妊娠を予定または希望している女性およびその夫等を対象に風しん予防ワクチンの接種費用を助成するもの。

問 市外での医療機関を希望した場合、償還払いでの助成が可能とのことだが、市内医療機関で接種した場合も助成方法は全て償還払いか。

答 全て償還払いを行う。生活保護受給者および市民税非課税世帯は、保健センターに申請していただき助成券を配布し、市内の協力医療機関で接種していただこうと考えている。

問 子宮頸がんワクチンは定期予防接種により健康被害が発生した場合、健康被害救済制度にのつとり医療費等の支払いが行われる。

問 接種の選択を市民の自己責任にしているような状況であると思われる。市として慎重に態度表明をすべきでないか。

答 予防接種法に定められ実施されており、専門会議で副反応について検討している状況である。市として予防接種の中止を発するべきものと考える。

6月定例会は、6月10日から25日までの16日間の会期で開催されました。

この定例会では、平成25年度一般・特別会計補正予算をはじめ、市長提出議案12件、

議員提出議案1件、請願1件の審議を行いました。

また、一般質問では11名の議員が市政全般にわたり質問をしました。

一般会計補正予算

届いた際に医療機関に対して情報提供を行つた。

と比べて30倍から40倍ほどのひどい副反応が発生すると言われている。

厚生労働省は、ワクチン接種を積極的に推奨しないことを周知している。ようだが、仮に副反応による後遺症が発生した場合、どのような措置をとるのか。

**子ども・子育て支援事業計画
策定事業
(99万円)**

平成27年4月に施行が予定されている「子ども・子育て支援法」に基づき、岩倉市子ども・子育て支援計画を策定するために必要な経費を計上するもの。

299
万円

子ども園、幼稚園、保育園は継続していくことになっているため、当面は保育園の形で存続する。

条
例

岩倉市営フードホールの設置及び管理条例 に関する条例の廃止について



廃止が決定した市営プール

反对

日本共産党 木村冬樹 議員

創政会
須藤智子
議員

討論

反対
4

**賛成
9**

賛成多數で
原案のとおり可決

子ども・子育て支援事業計画
策定の計画の内容について、
現時点でのどのように考えているか。
また、公立保育園はどのようになつ
ていくのか。

答 計画の内容は、幼稚期の学校教育や保育、地域子ども子育

て支援事業にかかる需要の見込みと、それに対応する供給体制の確保などとすることが法律で決められている。国の子ども・子育て会議の中で、今後基本指針が示されるので、それを受けて市の事業計画を考えしていく。

今年度は策定事業として、ニーズ調査を行う予定である。ニーズ調査や計画策定の際は、子育て当事者の意見を聴く場として、策定委員会を設置する。

公立保育園については、現行の子ども・子育て関連3法の中での認定

問 プールを廃止することにより、廃止後の代替案が必要と思うが、プール利用の補助や交通手段の確保等、何か検討したのか。

答　近隣市町では年間を通して利用できるプールもある。相手側との調整もあるが、補助については今後検討していくかと考へる。

多くの市民がプールの存続やプール利用についての何らかの対応を求めているにもかかわらず、他市町のプール利用補助や送迎バスの運行などの代案も示されておらず、市当局の認識と対応には、問題があると考える。

市営プールの廃止に伴う代替案が示されない限り、条例の廃止を認めることはできない。

た際には夏休み期間中の小学校のブール開放日数を増やすなど児童のために対策を行っている。また、市民の声を聞くためにアンケートを実施した結果、6割を超える人がブール不要、別なものに活用という回答であつたこと、ブール休業中における市民からの問い合わせがほとんどなかつたこと、さらにブール廃止後の代替案についても誠実に前向きに検討されるということで、この議案に賛成する。

アンケート結果では、「プールを修理して利用すべき」が36%、「別のものに活用すべき」が47%、「プールは不要」が15%、その他が2%ということで、3分の1以上がプールを残すべきと回答している。「別の中のものに活用すべき」という47%の回答者の中

オープニングし、当初は1万8千人を越える市民の方が利用されていたが、平成22年度には3204人まで利用者が減少した。オープニングから25年以上経ち施設は老朽化し、改修には多額な費用がかかるということで、平成23年度から休業しており、休業し

日本共産党 木村冬樹 議員

創政会 須藤智子 議員

人事案件

岩倉市監査委員に同意

内藤 とう
新柳町在住

(任期) 平成25年7月6日から
平成29年7月5日まで

同報系防災無線通信設備 整備の契約を議決

〔契約金額〕
1億2076万8千900円

〔契約の相手方〕

東芝通信インフラシステムズ
株式会社中部営業所(名古屋市)

☆同報系防災無線とは

大災害で被災した場合は電話等の回線が不通となることが予想される。市内20カ所にスピーカーを設置し、市役所の防災無線室から各スピーカーの無線機と電波通信することで、災害情報の収集や伝達手段を確保する。
併せて新たなメール配信システムを構築することで、災害情報以外の、さまざま公共情報を発信できるようとする。

審議された議案等の本会議での採決結果

市長提出議案

- 岩倉市監査委員の選任について・・・・・・・・・・・・『全員賛成で原案同意』
- 岩倉市税条例の一部改正について・・・・・・・・・・・・『全員賛成で原案可決』
- 岩倉市都市計画税条例の一部改正について・・・・・・・・・・・・『全員賛成で原案可決』
- 岩倉市国民健康保険税条例の一部改正について・・・・・・・・・・・・『全員賛成で原案可決』
- 岩倉市介護保険条例の一部改正について・・・・・・・・・・・・『全員賛成で原案可決』
- 岩倉市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について・・・・・・・・・・・・『全員賛成で原案可決』
- 岩倉市営プールの設置及び管理に関する条例の廃止について・・・・・・・・『賛成多数で原案可決』
- 平成25年度岩倉市一般会計補正予算(第1号)・・・・・・・・・・・・『全員賛成で原案可決』
- 平成25年度岩倉市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)・・・・・・・・『全員賛成で原案可決』
- 平成25年度岩倉市上水道事業会計補正予算(第1号)・・・・・・・・『全員賛成で原案可決』
- 岩倉市道路線の認定について・・・・・・・・・・・・『全員賛成で原案可決』
- 岩倉市同報系防災無線通信設備整備工事請負契約について・・・・・・・・『全員賛成で原案可決』

請願

- 年金2.5%の削減中止を求める請願 ・・・・・・・・・・・・『賛成少数で不採択』

議員提出議案

- 岩倉市議会議員政治倫理条例の一部改正について・・・・・・・・・・・・『全員賛成で原案可決』

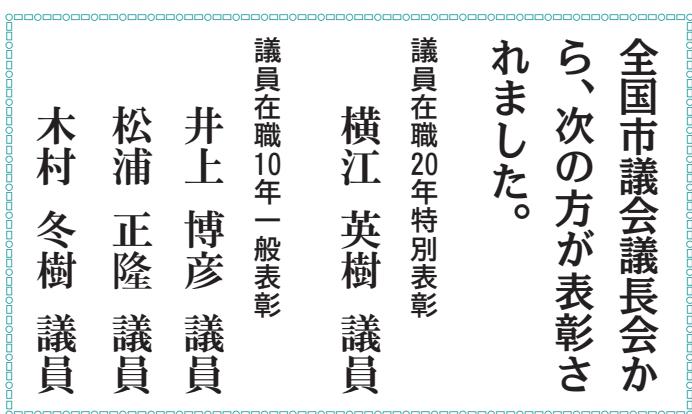
陳情 (※陳情は所管の委員会に送付されました)

- 最低賃金の引き上げ、公契約条例の制定など働く者の権利を守り、公務・公共サービスの充実、憲法擁護・核兵器のない世界を求める陳情書
- 違法な臓器生体移植を禁じることを求める陳情書
- 母(朱春菊)が中国で不法に逮捕されている件に関する要望
- 少子化ストップは国・自治体・公的機関を始め各界各位の『御公的』が地域を救うこと!

賛否が分かれた議案等

※伊藤隆信議員は議長であるため採決には加わらない。
○は賛成 ×は反対

件 名		審議結果	宮川 隆	塙本秋雄	井上博彦	関戸八郎	須藤智子	梅村 均	松浦正隆	黒川 武	横江英樹	桜谷規子	木村冬樹	相原俊一	加納のり子	伊藤隆信
議案	岩倉市営プールの設置及び管理に関する条例の廃止について	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	—
請願	年金2.5%の削減中止を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	—	



全国市議会議長会から、次の方が表彰されました。

表彰

委員長 松浦 正隆
副委員長 木村 冬樹

本年10月から実証実験が始まるデマンド交通事業について、特別委員会を設置して審議します。

デマンド交通事業特別委員会を設置

市議会ホームページのご案内

◆録画配信を行っています

本会議の模様をインターネットで録画配信していますので、こちらもぜひご覧ください。

岩倉市ホームページ

(岩倉市ホームページアドレス <http://www.city.iwakura.aichi.jp/>) ⇒市議会⇒録画中継

◆会議録について

本会議および委員会の会議録をホームページからご覧いただけます。

<本会議>

岩倉市ホームページ⇒会議録検索システム

(※今回の6月定例会会議録は、8月下旬に公開予定です。)

<委員会>

岩倉市ホームページ⇒市議会⇒定例会の概要

また、本会議および委員会の会議録は、市図書館、市庁舎1階情報サロン、市庁舎8階議会事務局でも閲覧することができます。

次回、9月定例会のご案内

～議会の生の声を傍聴してみませんか～

次回9月定例会は下記のとおり開催いたします。
(日程は都合により変更となる場合があります。)
住所と氏名を記入していただくだけで、市議会はどなたでも傍聴できますので、ぜひお越しください。

9月定例会会期（案）

- 9月 2日（月） 議案の上程、提案説明
 - 9月 4日（水） 議案質疑
 - 9月 5日（木） 議案質疑
 - 9月 6日（金） 一般質問
 - 9月 9日（月） 一般質問
 - 9月10日（火） 一般質問
 - 9月13日（金） 一般会計決算特別委員会
 - 9月17日（火） 一般会計決算特別委員会
 - 9月18日（水） 特別・企業会計決算特別委員会
 - 9月19日（木） 総務・産業建設常任委員会
 - 9月20日（金） 厚生・文教常任委員会
 - 9月24日（火） 予算常任委員会
 - 9月25日（水） 予算常任委員会
 - 9月30日（月） 委員長報告、質疑、討論、採決
- 【開会時間】午前10時
【場 所】本会議：市庁舎8階 議場
委員会：市庁舎7階 委員会室

市民の声を代弁 般質問

☆一般質問とは、議員が市政全般について質問することです。発言順に掲載しています。



創政會 黑川武議員

子育て世代の移住・定住の促進を

問　　国立社会保障・人口問題研究所は、2040年の岩倉市の人口を3万9183人、高齢化率を34%と推計している。人口減少時代、岩倉の未来をどのように考えるか。

住宅の環境や利便性、安全性などまちの魅力が判断要素となる。強みである利便性を最大限に生かし、総合計画という羅針盤とともに、市民、議会、行政が一丸となつて進んでいくことが大切である。

答
ームを作り、税制上の優遇策など検討している。ワンストップサービスとして特定の部署で支援する。

問 環境にやさしい企業の誘致が課題であるが、取り組みは。

て割高感がある。住宅取得に奨励金や利子補給などの支援策に取り組んでいる自治体があるが、検討してはどうか。

答 戸建て分譲は平成22年が50戸、23年が67戸、24年が65戸で、分譲住宅の需要はあるものの土地の供給から現状維持の推移と考える。

問 子育て世代の移住・定住のためには、「住まい」が必要。分譲住宅の建築動向と今後の推移は。

答 自治基本条例の「桜並木の保全」に基づき、桜並木を大切にする市民の輪を広げていきたい。

問 五条川沿いの桜並木 町の
誇り」という市内の91歳の男性の声が中日新聞に掲載された。桜に寄せる市民の想い、理念を例えれば「岩倉五条川桜並木を大切にする条例」という形で明確にできないか。

A black and white photograph showing a close-up of a plant growing on a rock face. The plant has several leaves and a stem.

次世代の後継木 「ひこばえ」

問 次世代の桜の育成が必要ではないか。

答 岩倉五条川桜並木保存会が枝剪定や施肥作業を行い、桜の延命、保護、育成を行っている。

問 桜並木は、昭和24年に苗木300本を植えたのが始まり。樹齢

地域福祉計画の推進



創政會
梅村均議員

問 この組織の存在、役割をしつかり周知して市民に理解してもらう必要があると思うがどうか。

の中の課題について検討し、その課題を解決するためこの組織を立ち上げた。メンバーは、地区懇談会への参加者で、民生委員、区の役員経験者、婦人会や老人クラブ役員の方々が多く計画策定と今後の計画の推進についての役割も担う組織である。現在、39名の方に登録をしていただいている。

問 市民主体であるこの計画において、「いわくら福祉市民会議」の役割は大きく重要である。どのような組織か。

答 各支会からご推薦いただいた方に各小学校区で実施した地

問 今年度、健康いわくら21の第2次計画を策定することになつてゐるが、22年度の評価結果（運動領域）をどう考へてゐるか。

答 ウォーキング等の運動の機会を作つていくことや運動の必要性を理解してもらうための啓発、情報提供が必要と考へる。



大地ふれあい広場にある健康遊具

問 行政支援計画の一つに「地域を支える担い手づくり」とある。難易度の高いテーマであると思うが、どういったことを考へてゐるか。

答 取り組み課題を具体化していく過程で、地域の中でのやりがいや成果が見えるように支援していくことが大切だと考へる。

問 健康施策（第2次計画策定に向けて）

答 これまで公園新設の際に、地五条川沿いで多くの人が歩き、グラウンドゴルフも行われているような場所に健康遊具を設置してはどうか。

問 お祭り広場、八剣憩いの広場、南部中学校隣の三角地帯など、五条川沿いで多くの人が歩き、グラウンドゴルフも行われているような場所に健康遊具を設置してはどうか。

答 元の要望等により設置してきた経過がある。既存の広場については市民のニーズ等を考慮し研究していきたい。

答 5月1日号と15日号の広報にも掲載したが、今後、計画を推進していくにあたり、広報やイベントを通じて認知度の向上を図つていただきたいと考える。

問 計画策定に業者委託はあるが市民の声は反映されるのか。

答 一般的の市民の皆さんを含めたワークショップを開催し、意見を取り込んでいきたいと考へる。



公明加納のり子議員

問 乳幼児や災害時要援護者をはじめとした災害弱者や、女性の視点に立った環境整備が課題になっているが、避難所における生活環境の整備はどのようか。

答 「避難に関する計画」を設けており、間仕切りセットや簡易ベッド、パーテーション型簡易トイレを備蓄している。昨年度は発電機と

問 災害時の自治体緊急事態の業務追行、事業継続対策はどのようか。

答 今後、業務継続の前提となる正確に行い、職員OBなど外部の応援を要請することも検討する必要がある。業務継続計画（BCP）策定は早期に取り組むべき課題の一つであると考へる。

問 耐震対策として、民間住宅の耐震診断や耐震改修補助などに取り組んでいるが、その進捗状況はどのようなか。また、県内被害想定の発表を受け、新たに取り組む施策はあるか。

答 耐震改修には大きなコストがかかるため、耐震診断を実施される方の1割しか改修につながっていないのが実態である。そこで、7月から新たに耐震シェルター整備、耐震段階改修補助、建物取り壊し補助を施行し、防災・減災対策として耐震対策全般の補助事業を充実させ

問 災害時の住民への情報伝達、最新の伝える方法と強化対策はどのようなか。

答 市の広報車による、広報が主な伝達手段であったが、現在進めている同報系防災行政無線が整備できると、緊急時などに一斉に情報伝達する手段が確保される。



平成25年度愛知県尾張水害予防組合水防・防災訓練
<一宮市> (5月26日)

問 就学前の保育園や児童館での防災訓練、防災教育は、どのように行っているか。

答 保育園では消防計画を、児童館では防災マニュアルを作成し、月1回避難訓練を実施している。

児童館では危険予知トレーニングや防災カルタ、起震車体験も取り入れるなど、消防本部の協力や指導も得て、子どもの安全確保に取り組んでいる。

※その他、子育て支援について質問した。

認知症予防対策について

会員 創政 須藤智子



問 岩倉市での認知症高齢者的人口推移は、どうになっていているのか。

答 正確な人数は調査を実施しないと把握できないが、推測と

して、介護認定審査の際の認知症の傾向のある人の状況をみると、平成25年4月の介護認定審査では、119件中63件あり、約53%で、この割合でいけば、平成25年4月末現在の要介護認定者数は、全体で1381人、うち約730人が認知症を患っていると推測する。

まつりを開催する予定であり、その際に、認知度チェックテストを試行的に実施する予定である。

一宮春日井線の進捗状況について

都市計画道路一宮春日井線は、平成23年度に名鉄犬山線跨線橋部分を含む区間が開通したが、小牧市側への整備延伸についてはどうなっているのか。

答 小牧市の状況は、愛知県と小牧市が事業調整しながら整備

に関わる検討および予備調査を進めている状況である。慢性的な渋滞を引き起こしている国道155号の渋滞解消のために、小牧市と共に県へ早期事業化の要望を行っていく。

問 一宮春日井線は、岩倉市としてどのような位置づけとしているのか。

答 小牧市および一宮市の未着手区間の事業化については、関係市と連携しながら愛知県へ要望を行っていく必要があると考えている。

答 7月末に地域福祉計画推進事業の一環として、まちの縁側



問 高齢者や障害のある人たちの声を届けながら、病院や市役所などの公共施設に行く「足」としての巡回バスを走らせてほしいと何度も求めてきた。10月から実証実験として走らせるデマンド交通につい

て、市民からたくさんの中が届いて、対象者が限定されていることについて、どう考えているか。

答 急速に進む高齢化の中で免許

証の返納者に対する移動の代替手段の提供や、子育て世帯が安全に移動できる環境を整えることなどが必要である。公共施設も各地に点在していることから、その利用に対し、移動手段を確保する必要がある。

日本共産党議員 桧谷規子



問 満65歳以下の祖父母がお孫さんを予防接種に連れて行く場合、利用できるのか。

答 就学前児童の付き添いであれば、利用可能である。

問 利用者の声から運行日等に変更の可能性がある場合、どの時点で見直しすることを考えているのか。

答 まずは地域公共交通会議で決められたことに基づいて実証運行するということである。その後の見直しをどの時点で行うかということについて現時点で言明することはできない。

スマートフォン等を利用した双方面行政サービス導入の考え方について



ブ ラ 議 員
ク 隆 民 川 宮

問 地域公共交通会議がすでに2回開催されているが、利用者を代表する者として、高齢者団体、障害者団体の市民が委員として入っていない。高齢者団体、障害者団体からの要望はどのように考慮するのか。

答 7月から説明会を実施していく。また、出前講座などの要望があれば対応していく。

問 土曜日に開いている病院や公共施設もある。運行日を月曜日から金曜日にした理由は何か。

答 平日に業務を行っている施設が多くいため、運行日を平日としたが、実証実験中にアンケートなどで利用者の声を聞きながら勘案していきたい。



問 国内においては、横浜市、千葉県流山市、福井県鯖江市など、観光振興、防災防犯、大気汚染、放射能情報、子育て情報など、積極的に取り入れているが、把握しているか。

答 行政が持っているオープンデータを積極的に公開することで、行政サービスに役立つウェブアプリケーションを公募やコンテストなどで調達している。

問 「フォーアメリカ」のように、ウェブアプリケーションを利用した行政サービスがある。例えば、スマートフォンの位置情報や写真機能を利用してことで、ゲーム感覚で道路の破損や落書きに関する通報ができる。また、アンケートの実施や救急通報にも利用されるなど、時間と手間を節約することができる行政サービスが進んでいる。このような情報をつかんでいるか。

答 アップルやグーグルなどのトップクラスの技術者が、休職して直接地方自治体に出向き、行政での身近な問題解決に向けたアプリの提供を行っていると聞いています。

問 岩倉市においては観光PRツールとして「いくわくん」と共に観光スポットで記念写真が撮れるアプリがある。また、消防署の「防

「災ほつとメール」には、2千人以上の方に登録をしていただいている。これからは、タブレット端末などを利用した双方向の行政サービスのニーズが高くなることが予想されるところからも、柔軟に対応できるように研究していきたい。



い~わ岩倉めぐり かくれい~わくんマップ
(「い~くん」のアプリを紹介するパンフレットとして市役所で配布)

6月の環境月間について

**市民クラブ議員
塚本秋雄**



憲法議論における環境権には、生存権や幸福追求権が、それがあたると言われる。

環境月間である6月1カ月間の岩倉市の取り組みは。

広報にて、岩倉市の水質調査や騒音測定を公表している。

不法投棄対策としては、監視パトロールや一斉回収を行っている。また、アダプトプログラム団体等による、一斉清掃活動、CO₂削減ライトダウンキャンペーンによる地球温暖化防止活動を実施している。

問

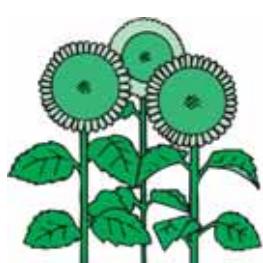
大気中の二酸化炭素濃度が、人類は歴史的な境界線を越え、低炭素型の経済構造に変えることが言われている。岩倉市の取り組みは。

地球温暖化対策の取り組みとして、平成20年度に「岩倉市

答

保全および創造とは、環境を良好な状態で維持していくだけでなく、失われた本来あるべき良好な環境を回復し、豊かな環境を確保することを目指している。そのための、人材育成、仕組みづくり、生活様式の提案なども「創造」に含まれる。

大気、水などの、環境の自然的要素と市民の社会生活の調和、整備が求められており、施策は多岐にわたるため、業務の見直し等については研究する。



地球温暖化対策実施計画」を策定した。平成24年度における温室効果ガス排出量の削減目標を4%として取り組み、節電意識などにより削減目標が達成されている。

岩倉の水源地岩屋ダムについて

環境の原点は水である。愛知県では「あいち森と緑づくり税」を活用した環境活動を推進している。下呂市にある岩屋ダムを身近に感じる交流をすべきでないか。

問

岩倉市の水道事業において、6割強が岩屋ダムを水源とした受水である。水源地の環境保全と水質浄化は重要であり、水源地との関わりを持ちながら交流を進めていくことは必要と考えるので、研究課題とする。

答



岩屋ダム

(出典元：岩屋ダム管理所ホームページより)

障害者福祉について



自民クラブ
関戸八郎 議員

問 新しく作成された障害者計画のチェックポイントは何か。

答 平成24年度に策定した障害者計画は、障害者基本法に基づいて策定したものである。策定にあたっては、岩倉市障害福祉計画など他の関連計画との整合性、法令の改正、社会情勢の変化等を踏まえた。

これまで継承してきた「ノーマライゼーション」とともに、「ソーシャル・インクルージョン」（社会的包容力）を理念の中心に据え、全ての人の人権が尊重され、誰もがその存在の価値と役割を持ち得る社会を目指すこととしている。

「ともに支え、ともに暮らす、笑顔と優しさに包まれた岩倉」という理念のもと、施策に取り組む。



問 障害者の法定雇用率は、平成25年4月から、民間企業が2.0%、国・地方公共団体等は2.3%と引き上げられた。

答 岩倉市を所轄するハローワーク犬山管内の民間企業の雇用状況は、平成24年6月1日現在で、障害者雇用率1.53%、達成企業は52%である。

また、岩倉市職員の障害者雇用率は、平成25年度見込みとして2.62%である。

問 新計画の下で、障害者が安心して暮らせる健常者との関わり合いの福祉施策をどのように進めしていくのか。

答 新計画では、基本方針、基本目標、基本計画に基づいて、実施する担当課を明示した個別施策を定めている。個別施策実現のためには、障害者福祉に関わる事業者や行政だけでなく、市民の皆様との協働、連携が欠かせないと考える。これらを念頭に置き、個別施策が実現されるよう取り組みを進めていく。

※その他、スポーツ施設の充実について質問を行った。

災害時支援ボランティアを



日本共産党
横江英樹 議員

問 平成8年の直下型地震を想定した当市の被害予測調査では、

市域全体で76件の出火件数、44件の炎上火災件数が想定され、市街地面積の70%以上の焼失が想定される。こうした状況を踏まえ、どのような火災戦闘体制を考えているのか。

答 震災時等の大災害に対しても、消防職・団員はもちろんのこと、岩倉市の持てる力を総合的に機動力をもつた中で対応することが必要である。市内各地で同時多発的に発生する火災については、その規模のみにとらわれることなく、延焼による被害拡大の可能性、避難住民への影響等を考慮した中で、優先度、緊急性を瞬時に判断し、保有する消防力を最大限機能させる体制をとつて対応することが必要である。

問

阪神・淡路大震災時の神戸市みでの対応は、困難を極める。災害時支援ボランティア制度を発足し、消防活動の支援にあたることができると人材を確保するべきではないか。

答

阪神・淡路大震災を教訓に、被災地のみでの対応が困難な場合、地域を超えた応援部隊として対処する緊急消防援助隊が平成7年度に創設、平成16年度に法制化され、全国の消防機関による応援が速やかに実施できる体制となっており、有事の際は当市に相当数の消防力が投入できるものと考えている。

また、東京消防庁の災害時支援ボランティアのように消防職・団員OBの方々が地域にとどまり、自発的な防災活動の中心となつて対応していただくことが何より重要である。当市の実情に即していると考えている。他の自治体のこうした制度を積極的に研究していくことは必要であると認識している。

自主防災組織、事業所、NPO法人等、さらには市民一人一人までが自助・共助の精神を一層養い、総合的に当市の消防・防災力を強化して重要であると考える。

いかなければならぬと考えている。

問

地域の防災力をより充実・強化するということであるが、自主防災組織を強化していくということなのか。具体的にどのような考えなのか、消防としての考え方を聞きたい。

問



訓練する災害時支援ボランティア



公明党
相原俊一議員

高齢者福祉サービスについて

問

岩倉市で実施している高齢者福祉サービスのうち、利用が多いもの、少ないものなどどのようなものか。

答

利用が多いものは、すこやかタクシードラム助成、緊急通報システム設置事業である。利用の少ないものとしては、家族介護者慰労金助成事業である。

問

紙おむつ支給事業について、が地域の防災力の要として、地域住民に対し、初期消火の正しい方法や避難を優先する時期の指導、防災資機材の使用方法等、自主防災組織に

答

介護度や支給額、支給方法については若干の違いがあるが、多くの近隣自治体でも、非課税世帯が事業の対象である。



愛知県腎臓病協議会のバッジ

問

当市の透析患者の数はどのくらいであり、災害時の対応およびその周知をどのように考えているか。

答

腎臓機能障害の身体障害者手帳交付者のうち、自立支援医療受給者の人数が透析患者と認識しており、その数は45名である。

愛知県腎臓病協議会では、災害時に透析難民を出さないため、7月から透析患者と分かるように会員にバッジと会員証を発行するので、市としても広報やポスター等で周知に努める。

透析患者災害について

学童全員にヘルメットの支給を

問 災害時用ヘルメットを整備している近隣自治体の状況は。

答 近隣自治体での実施はない。名古屋市では公費でなく、地域からの寄付等により設置している小学校が2校あり、浜松市では小学校の入学祝い品として通学用のヘルメットを支給している。

問 市内全小学校に配布するとしたら場合、費用はどのくらいか。

答 ヘルメットの単価は約1500円であり、市内全児童分を整備すると、2500人として375万円必要である。

問 新1年生だけでも実施はどうか。

答 新1年生のみの実施で年間約63万円が必要となるが、ヘルメットの保管場所等導入については様々な問題があるため、今後調査、検討していく。



日本共産党
木村冬樹議員

社会保障制度のさらなる充実を

問 第2期特定健康診査等実施計画では、健診受診率を平成29年度には60%にするという高い目標となっている。近隣市町で実施されている医療機関での個別健診に踏み出す時期ではないか。

答 実態調査した上で医師会に相談していく。集団健診も土日や夜間での実施の可能性を検討していく。

問 脳ドック等検査も岩倉病院だけでなく、近隣市町の医療機関で受けた場合も助成してはどうか。

答 岩倉病院で希望者全員が受診できていることから、現在のところ拡大は考えていない。

〈平成24年度に実施された脳ドック等検査の概要〉

検査名	検査項目	検査費用額	助成金額	自己負担額
脳ドック	問診、血圧測定、MRI検査、MRA検査、血液検査、血液生化学検査、心電図、尿検査、聴力検査、胸部X線検査	34,650円	13,000円	21,650円

(対象者：国民健康保険および愛知県後期高齢者医療に加入している方)

問 生活保護法「改正」案は、「特別な事情」がない限り保護の申請に書類の添付を義務づけ、扶養義務者に対する調査権限を福祉事務所に付与するという内容である。法の「改正」で市の対応は変わるのであるのか。

答 保護が必要な人が申請しづらくなるようなことがないよう、申請者の立場にたつた対応に努める。

問 平成27年1月から導入されるマイナンバー制度は、プライ

バシー侵害が常態化する、費用対効果が示されていない、徴税強化や社会保障給付削減の手段とされるなどとの問題が指摘されているが、市はどう考えているか。

答 個人の正確な所得情報が把握でき、効率性の向上や負担の公平性が図られると考えている。

問 同制度を導入しているアメリカや韓国では、情報漏えいやなりすまし犯罪が多発している。個人情報は守られるのか。

答 監督機関の設置や罰則強化などの対策が取られると聞いている。

社会教育活動のさらなる充実を

問 生涯学習センターの管理・運営は指定管理となっているが、

答 社会教育の範囲は非常に広範であり、指定管理者による運営では限界があるのでないか。直営に戻すべきではないか。

答 指定管理者でも、他市と比較して優れた内容であると考え

写真を募集します！

岩倉市議会では、市議会だよりの表紙等に皆様が撮影した写真を掲載します。写真のテーマは、「岩倉の四季が感じられる写真」です。皆様のご応募をお待ちしています。

応募方法

◆住所、氏名、電話番号、撮影日、撮影場所および写真に添える説明文を記入の上、直接お持ちいただくな、郵送もしくはメールでご応募ください。

◆写真の審査は議会広報特別委員会で行います。応募をいただいた写真は返却出来かねますのでご了承ください。

郵送先 〒482-8686 岩倉市栄町一丁目66番地

岩倉市議会事務局

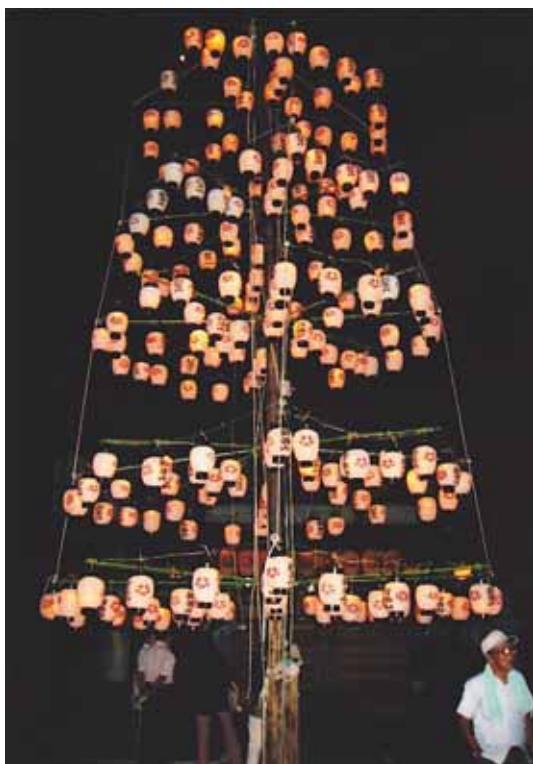
メール gikai @ city.iwakura.lg.jp

問合先 岩倉市議会事務局

電話：0587-38-5820（直通）

岩倉の思い出風景

～皆様からいただいた写真をご紹介します～



＜傘鉾＞

傘鉾（かさほこ）とは

今から790年前、親鸞上人が布教の道中、證法寺に一夜の宿を取られたのが、旧暦7月15日（現8月15日）と伝えられています。翌朝、住職が「昨夜は蚊に悩まされたのでは…」とお聞きすると、上人は「蚊を封じた」とおおせになり、それ以来8月15日の夜ばかり、蚊がいなくなつたとのことです。

その後、この故事を記念して昭和2年に信徒有志により傘鉾が建てられ、近所の家々では、あんぐりに、川柳を書いて道を照らし参拝者の目を引いたそうです。

写真は、昨年8月に本町の證法寺で傘鉾が催され時のもので、昨年で最後となりましたが、夏の思い出に残る風景写真として、本町の丹羽進太郎さんから提供していただきました。

議会広報特別委員会 （◎は委員長 ○は副委員長）

◎木村 冬樹

○梅村 均

宮川 隆

関戸 八郎

加納 のり子